

歯の妖精 トゥース フェアリー

TOOTH FAIRY

Annual Report

2012

歯医者さんと患者さんで進める社会貢献活動

TOOTH FAIRY 2012年度のご報告をお届けします



歯の妖精
からの贈りもの

ToOTH
FAIRY
トゥース フェアリー

歯の妖精 TOOTH FAIRY のおとぎ話

FAIRY-TALE OF TOOTH FAIRY



西洋では抜けた乳歯を枕元に置いて寝ると、夜中に歯の妖精 TOOTH FAIRY がこっそりその歯をもらいに来て、お札にプレゼントと交換していくと言われています。

TOOTH FAIRY プロジェクトとは？

ABOUT TOOTH FAIRY PROJECT

全国の歯医者さんと患者さんの協力により集めた金歯や銀歯を寄付金に

換えて、子どもたちへ夢と笑顔をプレゼントする社会貢献プロジェクトです。



途上国の子どもたちや重い病気と闘っている子どもたちの夢

歯の妖精 TOOTH FAIRY がかなえます！



① プレゼント① フェアリー スクールプロジェクト



② プレゼント② フェアリー チャレンジキッズプロジェクト

フェアリー スクールプロジェクト

～ミャンマーの子どもたちに学校を！～

アジアの最貧国ミャンマーで、学びたくても学べない子どもたちに
TOOTH FAIRY が校舎をプレゼント。

これまでに山岳少数民族が多く住むシャン州で10校の校舎を建設。
また、日本から歯医者さんが現地を訪問。

また、日本から歯医者さんが現地を訪問。
電気もガスも水道もない村に暮らす子どもたちに生まれて初めての
「お口のチェック」を受けてもらいました！



正式名称：ミャンマー連邦共和国（Republic of the Union of Myanmar）
国家元首：ティン・セイン大統領（2011年3月30日就任・任期5年）
面積：68万平方km（日本の約1.8倍）
人口：6,367万人（2012年、IMF推定値）
民族：ビルマ族（約70%）、その他多くの少数民族
言語：ミャンマー語
首都：ネーピードー
名目GDP：約540億ドル（2012年度、IMF推定）
一人当たりGDP：834ドル（2012年度、IMF推定）
通貨：チャット（Kyat）
為替レート：1米ドル=818チャット（中央銀行レート）（2012年4月現在）
(外務省ホームページから引用、2013年9月現在)

発展する経済と、変わらない村人の純粋さ

2011年3月にそれまでの軍事政権にかわって文民政府が成立、ミャンマーは急速に民主化に向かって進んでいますが、まだ大きな課題があります。

約130もの少数民族からなる多民族国家ミャンマー。これまで60年以上にわたって少数民族武装勢力と中央政府との武力対立が続いてきました。民主化によって海外からの経済進出が進む中、少数民族地域にも経済的な恩恵や、教育、医療の充実があってはじめて安定した国が生まれると私たちは考えています。TOOTH FAIRYは、村人の純粋な気持ちはそのままに、少数民族地域での学校建設によりミャンマーの子どもたちを支援していきます。

ミャンマー mini 講座



私がミャンマーをご紹介します！

ミャンマーの伝統的化粧品
「タナカ」

ミカン科ゲッキツ属の木の樹皮をすりおろして作る粉を水にいたもので、肌を守る効果があります。日焼け止めにもなる優れものです。私も挑戦しましたが、すっとして気持ちよかったです。

ミャンマー人は
「曜日占い」が大好き

ミャンマー人にとって生まれた曜日はとても大切で、名前を付けるためには生まれた曜日が必要になります。名前を見れば何曜日生まれか分かるようになっています。ちなみに、私は火曜日生まれで、ライオンが守護動物らしいです♪



ミャンマーの国民性

ミャンマーの国民性は日本人と似ています。自己主張を強くする人はあまりなく、相手を立てて皆で円滑に物事を進めようとしています。手先が器用な人も多いです。また熱心な仏教徒が多く、御祈りの時間を大切にしています。

ミャンマー の少数民族紹介

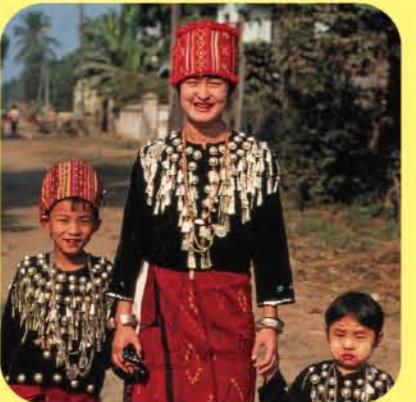
ETHNIC MINORITIES IN MYANMAR

ミャンマーには約 130 もの少数民族が生活しており、TOOTH FAIRY で学校建設をすすめるシャン州にも多くの少数民族が暮らしています。今回はその中でもよく登場する民族をご紹介！



パオ族

パオ族は竜の母親と超人の父から生まれてきたという伝説があります。黒か紺色の服を着て布を頭に巻くのが特徴です。最近の若い女性にはカラフルなバスタオルを巻くのが人気です。ニンニクや葉巻の葉っぱなどを栽培しています。



カチン族

ミャンマー北部にあるカチン州の主要民族。以前は山岳部に暮らし、焼畑農業での主要民族。人口はミャンマーで 2 番目に多いです。タイ民族とほぼ同じ民族でタイからの影響を強く受けています。言語もタイ語に近いシャン語を話します。顔立ちは中国系の人が多く、日本人に似ている人もいます。



シャン族

ミャンマー東部の最も広い州、シャン州の主要民族。人口はミャンマーで 2 番目に多いです。タイ民族とほぼ同じ民族でタイからの影響を強く受けています。言語もタイ語に近いシャン語を話します。顔立ちは中国系の人が多く、日本人に似ている人もいます。

歯医者さんが村にやってきた！

～ミャンマー歯科ボランティアツアー～



村の一般的住居。
竹でできています。

- SCHEDULE**
- 3月 6 日：東京からヤンゴンへ
 - 3月 7 日：ヤンゴンからタウンジーへ
バースエ公立小学校訪問
同校で歯科チェック実施
 - 3月 8 日：ホッポン高等学校（分校）訪問
同校で歯科チェックを実施
 - 3月 9 日：タウンジーからヤンゴンへ
 - 3月 10 日：ヤンゴンから東京へ

TOOTH FAIRY が校舎を建設している村の多くは、

電気もガスも水道もありません。もちろん病院も歯科医院も。

2013 年 3 月、TOOTH FAIRY ではミャンマー歯科ボランティアツアーを開催。はるばる日本からやってきた 9 名の歯科医師による「はじめてのお口のチェック」に子どもたちはドキドキ。

ミャンマー歯科ボランティアツアー参加者の紹介



後藤歯科医院（神奈川県）
後藤 幹子 先生
神奈川県茅ヶ崎市美住町 14-12



佐藤歯科医院（神奈川県）
佐藤 哲生 先生
神奈川県川崎市麻生区高石 3-2-4



医療法人社団オリエント
後藤歯科医院（神奈川県）
後藤 梢 先生・美佐子さん
神奈川県高座郡寒川町岡田 5-14-15

8020 運動をはるかに超え、26 本がご自身の歯です。年長者を敬うミャンマーでは、遠く日本から来た 86 歳の現役の歯医者さんに子どもたちも村人も大感激でした。



角町歯科医院（長崎県）
角町 正勝 先生
長崎県長崎市出来大工町 62-4



中島歯科医院（和歌山県）
中島 毅 先生
和歌山県伊都郡かつらぎ町妙寺 468



松村歯科（神奈川県）
松村 照代 先生
神奈川県川崎市幸区下平間 223

訪問歯科診療の専門家。ミャンマーの無歯科医村にもっと必要とされているものです。とても熱い思いをお持ちの先生です。



小山歯科医院（静岡県）
小山 和彦 先生
静岡県浜松市中区佐鳴台 1-12-8



いで歯科医院（千葉県）
井出 壱也 先生
千葉県松戸市西馬橋相川町 117

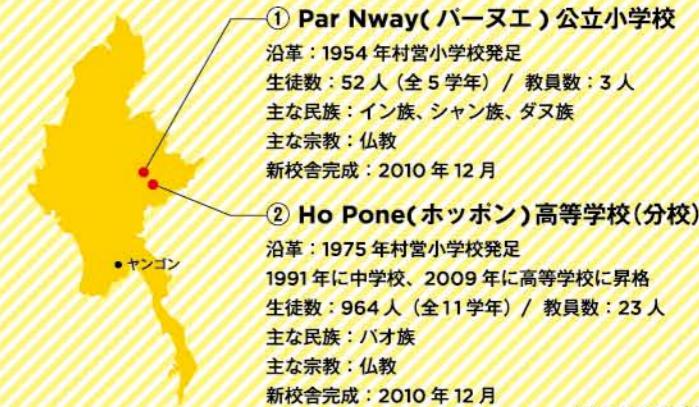


とも歯科医院（兵庫県）
坂口 智計 先生
兵庫県神戸市須磨区飛松町 3-1-3

富士登山はおまかせ！子どもたちの歓迎ダンスに飛び込んで村人を大いにわかせていました。

気は優しくて力持ち。荷物運びはお任せ！
スプーン曲げのマジックにミャンマー人もびっくり！

今回訪問した学校の特徴



① Par Nway(バースエ) 公立小学校

沿革：1954 年村営小学校発足
生徒数：52 人（全 5 学年） / 教員数：3 人
主な民族：イン族、シャン族、ダヌ族
主な宗教：仏教
新校舎完成：2010 年 12 月

② Ho Pone(ホッポン) 高等学校(分校)

沿革：1975 年村営小学校発足
1991 年に中学校、2009 年に高等学校に昇格
生徒数：964 人（全 11 学年） / 教員数：23 人
主な民族：バオ族
主な宗教：仏教
新校舎完成：2010 年 12 月

(2013 年 3 月現在)

歯医者さんが大活躍！～ミャンマー歯科ボランティアツア～



参加した先生たちの VOICE



子どもたちからのありがとう



チーズーティンバーダー 日本の歯医者さん、ありがとう！

フェアリー チャレンジキッズ プロジェクト①



「がんになっても笑顔で暮らしたい！」

TOOTH FAIRY で支援を続けてきた「チャイルド・ケモ・ハウス」がいよいよオープン

過酷な小児がん治療の現状

以前は“死の病”として恐れられていた小児がんだが、今の医療技術で小児がんのおよそ7割は治癒できるようになった。抗癌剤を投与する「化学療法」(Chemo Therapy=ケモと呼ばれている)が一般的な治療法だが、治療には半年から1年という長期入院が必要となる。わずか2坪、おもちゃを置く場所も、遊ぶ場所もない、カーテンで仕切られた狭い空間。そんな不自由な環境で、小児がんの子どもたちは辛い治療に耐えている。しかも、この間は、免疫力が低下するため、きょうだいや友だちにも自由に会えない日々が続く。そして、病気のわが子をいたわる付き添いの親は、与えられた小さな簡易ベッドで眠り、入浴や食事もままならない日々を送ることになる。

ただでさえ大きなストレスにさらされる子どもと家族は、過酷な環境での闘病生活を強いられることとなる。残念ながら、これが日本の小児がん治療の現状だ。

夢の病院を実現するために…

「チャイルド・ケモ・ハウス」は、自分の家のような環境で家族と一緒に暮らしながら小児がんの子どもが安心して化学療法を受けることができる日本で初めての専門治療施設で、TOOTH FAIRY からの3億円の支援をもとに建設された。

事務局長の田村亜紀子さんは、息子の結人君の長い闘病生活に寄り添った経験をもつ。田村さんは、「過酷な環境だったけれども、治してもらえるのなら、今だけの辛抱だからと、我慢していました。とても大きなストレスでしたが、入院中は麻痺してしまうんです」と振り返る。けれども、子どもにとって半年から1年の療養生活は長く、学校のこと、家族関係、さまざまな問題が生じる。友だとも会えない、取り残されてしまう不安も大きい。そして、中には、苦しい治療の末、亡くなってしま

しまう子どももいる。

結人君の主治医だった楠木重範さんから、「今の小児がん治療の現場を変えたい。理想の病院をつくりたい」と相談を受けた田村さん夫婦は、「子どもと家族が笑って過ごせる小児がん患者のための専門施設を作りたい」と一念発起し、7年前「夢の病院をつくろう PROJECT」をスタートさせた。プロジェクトは、まず、家族や医療スタッフが「どんな環境での治療が理想的か」など、意見を出しあうことから始まった。そして、街づくりの専門家や建築家など、さまざまな業種の人々が集まつた。一番の難題は、建築資金であった。これを全国の歯科医師から寄せられた歯科撤去金属の寄付による支援を受けることで、理想の病院は一気に実現に向け動き出した。

あたりまえの幸せがいっぱい詰まった施設

自宅のように料理できるキッチン、疲れたときはゴロゴロできる畳の部屋、つらい時には泣くことができるスペース、きょうだいや友だちとおもいっきり遊べる空間、家族と一緒にご飯を食べたり寝ったりできる家。チャイルド・ケモ・ハウスには、そんな、あたりまえの幸せがいっぱい詰まっている。

そして、共有スペースの広いブレイルーム中央にあるガラス張りのオープンキッチンは、「遊びながら、母さんがご飯をつくっているところをみたい」という結人君のアイディアだ。結人君は2009年に天国に召されたが、結人君の願いはチャイルド・ケモ・ハウスに生き続けている。



チャイルド・ケモ・ハウス事務局長の田村亜紀子さん。息子・結人君の闘病生活を経験し、夫婦で活動を支えている。

※文中に病院という表記がありますが、チャイルド・ケモ・ハウスは、診療所とハウス（家）で構成されている施設です。



わずか2坪の狭いスペースで、過酷な治療に耐える小児がんの子どもたち。

簡易ベッドで眠り、食事や入浴もままならない状況の中、

わが子を支える付き添いの親。

そんな小児がん治療の現状を変えるために、医師や看護師、患者家族が集まって、

7年前、夢の病院をつくるプロジェクトがスタートした。

そして、いよいよ夢が現実となり、「チャイルド・ケモ・ハウス」がオープンする！



明るい多目的室では、子どもたちの学習支援のほか、人材育成のための研修も行う予定。
ごろごろしたり、はいはいしたり、畳スペースは大人気。
キッチン、バス・トイレを備えている部屋に家族全員で暮らす。
仕事を終えたお父さんが気兼ねなく帰ってこれるように、部屋ごとに玄関がある。



チャイルド・ケモ・クリニック、診察室（左上）、処置室（左下）
は子どもたちの不安をやわらげるため、明るいゆったりとした空間。

大きな窓がある広々としたブレイルーム（上）、中央にあるガラス張りのオープンキッチン（下）は、地域にも開放的预定（上）。明るく開放的なロビー（下）。

チャイケモが動けば、日本が変わる！



日本では治療が中心で、生活を守る支援がない

—宮野さんが小児がん治療の現場で感じていた課題には、どんなことがありますか？

海外では治療以外のサポートが進んでいますが、日本では治療中心の入院生活に偏りやすい傾向があります。医療者も患者さんと家族の生活の質を良くするために日々努力していますが、医療制度による制限などからどうしても難しい面が多くあるのが現状です。

もちろん、がんをもつ子どもは感染を起こしやすいので、できるだけ隔離しなければならないという理由があります。入院治療しないといけないのも、面会制限があるのも、感染予防のためです。だけど、きょうだいと一緒に暮らしても、予防接種をちゃんとすると、咳・鼻水の症状があるときには離れてもらうとか、ルールを決めれば、患者さんの状態によっては大丈夫な場合もあるかもしれません。チャイケモの取り組みは、今の入院環境を見直す大きなきっかけになると思っています。

—家族がバラバラになってしまうのは辛いですね。

残念ながら家族と離れたまま、亡くなってしまう子もいます。残された家族は、「こんなことが出来てよかった」「あの時間が楽しかった」とか、ひとかけらの楽しかった思い出を大切に意味づけていかれる方もいます。がんになってしまったことは変えられない事実だけど、ご家族が意味づけされていく部分を、私たちとしては支えたいと思っています。



特に、きょうだいは何が起こっているのかわからないまま、ぼんとした気持ちになっています。きょうだいが病気だからこそ、一緒にいたいのに、一緒にいれない。そのまま亡くなってしまうと、「大好きって伝えたかった」とか「もっと会いたかった」とか、いろんな想いが残ってしまいます。

—「あの時はよかった」と思える時間は大切ですね。

野球部のキャプテンをしていた中3の男の子で、肺に転移がわかつて根治が望めない状態の子がいました。どんなにしんどく

「小児がん治療の現場を変えたい」。そう願っていたのは、患者家族だけではない。チャイルド・ケモ・ハウス（チャイケモ）は、「こんな環境で治療を受けたかった」という患者家族と、「こんな環境で過ごしてほしい」という医療者の願いを実現するために誕生した。看護師の立場から、チャイルド・ケモ・ハウスに関わってきた宮野さんに、お話を聞いた。

でも、看護師が部屋を出る時に、酸素マスクをはずして「ありがとうございます」と挨拶するような子で、みんなの人気者でした。ふだんは要求を口にしない子でしたが、ぼそっと「野球部の引退試合に行きたい」と言つたんですね。みんなその子のために何かしてあげたいと思っていたので、引退試合の日がベストコンディションになるようにお薬を投与し、輸血をし、体調を整えました。

いつ容態が急変してもおかしくないハイリスクな外出でしたが、ユニフォームに着替え、キャプテンとして、試合を観戦することができました。試合のあと、ハンバーガーを食べるが、その野球部の恒例行事だったんですね。1週間くらい点滴だけで過ごしているような状態だったのに、「食べる？」って聞いたら、酸素マスクをはずして……。ハンバーガーを食べたんですよ。バク、バク、バクって。病院ではずっとしんどそうな顔だったので、友だちの前だと笑っているんです。笑って話していくんですよ。残念ながら3日後にその子は亡くなってしまいましたが、今でもこの野球観戦は、泣きながら笑いながら語り合えるご家族と私たちの大切な思い出です。

—たとえハイリスクでも、大切にしなければならないことがあるんですね。

思春期はアイデンティティをつくっていく時期なので、その子にとって「病気の自分」だけじゃなくて、「キャプテンの自分」でいられることが、すごく大切だったと思うんです。だから「病気の自分」だけの生活にならないよう、サポートが必要。今は、映画を観たり、コンサートに行ったりすることは、移動手段の確保や外出用医療機器の手配など、様々な準備が必要です。でも準備に時間がかかるので、ボランティアや福祉のサービスを使って、もっと日常的に楽しい時間を作ることができればいいなと思っています。



チャイケモなら、家族一緒に過ごせる

—他に、チャイケモではどんなことができますか？

宿泊施設の一つ一つの部屋にキッチンがついていて、お母さんが作ったご飯を、家族と一緒に食べることができます。小さい

子どもに「何がしたい？」って聞くと、ほとんどの子は「おうちに帰りたい」って言います。「おうちに帰ったら、何する？」って聞くと、8割くらいの子が「お母さんのご飯を食べる」って言っています。そのくらい、お母さんのご飯が食べられることが、子どもにとって大切なことです。

—家族一緒に暮らせるというのは、いいですね。

今は、朝の5時6時に病院を出て自宅に戻り、朝食の用意をしてようだいを送り出し、また病院に戻って治療中の子どもの付き添いをして……という二重生活をしているお母さんが多いんです。生活も大変なのに、お母さんの「病院では泣くところもない」という言葉が、とても印象に残っています。ずっと子どもと一緒に、大部屋だと、お母さんたちはしんどいときも泣くことすらできません。なので、チャイケモには、「泣いても大丈夫なお部屋」も準備しています。

—狭い空間の中で子どもも家族も、いろんな我慢を強いられているのですね。

チャイケモでは、思春期の子のためにティーンズエリアもつくります。たまり場的に「あの薬ほんま飲むのイヤやねんなー」とか「先生今日テンション高かったなあ。きっと奥さんとデートやで」とか言える場所です。思春期には、小さい子どもとは違う課題があります。遊びの種類もぜんぜん違うし、病気のこと自覚しているし、進路のこと心配だし、悩みが複雑です。でも、家族や周りの大人はなかなか本音が言えない。孤独だと思います。なので、がんを乗り越えたサバイバーのお兄ちゃんがボランティアでいて、さりげなく「俺も昔入院しててん」って自分の体験を話してくれるとか、そういう環境もつくりたいと思っています。



チャイケモのキャラクター

「チャイケロ君」。

「うちへカエル」という願いもこめられている。



チャイルド・ケモ・ハウス

建設地：兵庫県神戸市中央区港島中町8-5-3

事業内容：小児がん専門治療施設の運営、小児がんに関わる医療者・ボランティアの人材育成、小児がんの子どもと家族のQOLの向上に関する活動等

がんになった経験が、力になるように

—チャイケモには、どんな課題がありますか？

TOOTH FAIRY の支援で、建物を建てることは出来ました。しかし、建物の残りの支払いや運営資金などのファンディング（資金集め）が一番の課題です。海外でもこうした施設は寄付でまかなわれているので、いろんな方法でファンディングにトライしていきながら、資金を集めいかなければなりません。それは、大変です。

今の制度が壁になっていることもあります。たとえば、院内学級。チャイケモは制度上、病院ではないので院内学級がつくれません。つくれたとしても、在籍校から転校と言う形になります。在籍校から籍が抜けると、朝礼で名前を呼ばれなくなるし、自分の机もなくなってしまうんです。なんとか在籍校とつながりながら、学習支援ができる体制をつくるのも課題です。



—新しい挑戦は大変だと思います。目標にむかっていけるはどうですか？

患者さんの嬉しそうな顔や、「忙しいのにお風呂に入ってくれてありがとう」とか「この子がいちばんがんばった時を見ててくれたのは看護師さんです」とか、そんなご家族の言葉に、私が支えられています。少しでも、返していきたいなって思うんです。子どもにとってがん治療は大変な経験だけど、「がんを体験したから優しくなれた」とか「しんどかったけど強くなれた」とか、「嫌だった」「辛かった」だけではない部分をみつけられるよう、サポートしていくたいなと思っています。



人材育成を担当する宮野遊子さん（大阪大学大学院医学系研究科生命育成看護科学講座助教）。「自分が関わった子どもの思い出や、家族の言葉が、モチベーション」と語る。

フェアリー チャレンジキッズ プロジェクト② ~一華ちゃんのお宅訪問~

川原さん
一家
家族構成

父 範忠（のりあつ）さん
母 絵里（えり）さん
長女 一華（いちか）いっちゃん 9歳
次女 乙華（おとか）おっちゃん 6歳
長男 一真（かずま）かっくん 2歳



満面の笑みの一華ちゃん

13 トリソミー

川原夫婦は9年前、13トリソミーという重い病気を持った長女、一華ちゃんを授かりました。この病気は13番目の染色体が一本多いことが原因なのですが、予後は一般的に厳しく、平均寿命は3-4か月、1年生きられる可能性は10%と宣告されました。

無呼吸発作

まず、母親の絵里さんが直面したのは一華ちゃんの無呼吸発作です。発作は前触れなく突然はじまり、手動の人工呼吸器で蘇生をはかるのですが、長い時には5分ものあいだ呼吸が止まってしまうのですから、そのこわさは並大抵ではありません。「帰つてこい、帰つてこい」と願いながら必死に蘇生をするというこ



一華ちゃんの医療セット



TOOTH FAIRYで開設を準備している、神奈川県大磯町の小児ホスピス「海のみえる森」。昨年、海のみえる森の体験宿泊会に遊びに来てくれた川原さんのお宅に訪問しお話を伺いました。

とが、多い日は一日に15回ほどもあったそうです。いつ起きるかわからない発作が心配で、絵里さんは外出はおろか、お風呂もトイレもドアを閉めることもできず付きっきりの看病となりました。父親の範忠さんも気が気ではありません。電話が鳴るたびに、覚悟を決めて、無事だと聞いては胸をなで下ろす毎日。そんな日々が休みなく続いていました。

1歳の誕生日

嵐のような毎日を過ごす中、一華ちゃんは厳しいと言われていた1歳の誕生日を迎えることができました。ここからが川原さん夫婦のすごいところです。「一華のことを覚えていてもらいたい、一華にきょうだいと過ごさせてあげたい」と、二人目を授かる決意を決めたのです。そうして生まれてきたのが待望の二女の乙華ちゃん。そして現在は2歳になる長男の一真君と、間もなく生まれる4人目と合わせて4兄弟6人の大家族になりました。

ファミリーの中心

上から9歳、6歳、2歳の子どもたちを、大きなお腹で支える絵里さん、そして「イクメン」の鏡、範忠さん。その中心にはいつも一華ちゃんの存在があります。一華ちゃんの周りを家族が囲み、子どもたちは遊び、絵里さんは家事をし、範忠さんは子どもをあやしながら家族の会話を弾んでいきます。歩くこと、話すことはできない一華ちゃんですが、そこは以心伝心。ニコニコしながら妹弟のそばに寄っていき、立派にお姉さんの役割を果たしています。



かたつむりごっこに一華ちゃんも大喜び

大変だけど大変じゃない

ご夫婦に、生活についてお聞きしました。
「最初のうちは、外で会う人が一華を見て、「かわいそうに」と言われるのが、受け入れられなかった。ふつうに子育てしてい



大好きなお父さんと一緒に

TOOTH FAIRY の歯医者さんへ

最後に先生方へのメッセージをお聞きしました。
「先生方のご協力で、憧れだった自然の中での家族団らんが出来ました。海のみえる森は別世界でした。一華は歩けないけれど、協力してくれる先生や患者さんが手を引っ張ったり、足になつて下さったのかなと思います。一華はこれまで見れなかつたものが見れ、海にも行けて感情や興味が広がったと思うし、乙華や一真にも思いっきり甘えさせてあげることができました。本当にうれしかった。心から感謝しています。(範忠さん)」「なかなか歯科医院にも行けなかったので平塚歯科医師会の先生が来て歯を見て下さった事もとても助かりました。(絵里さん)」



いっちゃん、おっちゃん、かっくんが力を合わせて書いてくれました

川原ファミリーの生活は元気いっぱい、幸せいっぱいの川原ファミリーですが、外出や特に泊まりがけの旅行は困難が多くなかなか実現することができませんでした。海のみえる森から体験宿泊に誘われた時には大喜び。いろいろな事を我慢させてしまうことが多い、乙華ちゃんと一真くんにとってもまたとない機会となりました。「とにかく森の中に家族一緒にいられることがうれしかった。空気が本当にいいなくて。一華は外で遊ぶ機会がないので、初めての経験をたくさんさせてあげることができました。私は建築が好きだから、あの素敵なお家を見ているだけでワクワクしました。スタッフのみなさんがいたので、安心して飲めるビールも最高でした。(範忠さん)」

「最初は11月にいくつもりが、一華の高熱で5月に延び、結局実現までに1年近くかかりました。その間パンフレットを見ながら、乙華はこれがしたい、一真はツリーハウスだ、って。何をするか考えることが楽しくて、楽しくて仕方なかったです。(絵里さん)」



森の中で家族団らん



はせがわ、やまさきも
一緒になって遊んできました(笑)

海のみえる森

場所：神奈川県中郡大磯町東小磯563
事業内容：難病や重い障害と闘う子どもたちへのショートステイ、デイサービスのほか、家族や兄弟の受け入れ及びレスバイト等の提供、心理的・社会的問題の相談・支援、死別後のビリーブメントケアの提供等

TOOTH FAIRY 対談

DIALOGUE



大久保 満男

公益社団法人 日本歯科医師会 会長

笹川 陽平

日本財団 会長

2009 年にスタートした TOOTH FAIRY。日本歯科医師会協賛のもと、多くの歯科医師と患者の皆様の協力により、この 4 年間で日本を代表するチャリティーへと成長。この度、プロジェクトの生みの親である二人が TOOTH FAIRY への思いを語った。



日本を代表するチャリティーに発展

笹川 歯科撤去金属（治療上撤去しなければならず不要になった金属冠などのこと。以下同意）を世の中の恵まれない人たちのために活用させていただきたいという提案を大久保会長にご快諾いただいてから 4 年になります。その間に約 5,100 医院の歯科医院にご協力いただき、のべ 5 億円を超える寄付が集まりました。全国の歯科医院の皆様が歯科医師会を通じて参加し、社会のために協力しようという世界的に誇れるプロジェクトになりました。その影響力は、とても大きく、国民レベルまで広がりを見せています。まずは、ご参加いただいている歯科医院の皆様、金属をご提供いただいた患者様、そして日本歯科医師会様のご協力に御礼申し上げます。

大久保 こちらがむしろお札を申し上げたいと思っています。 笹川会長からプロジェクトの説明を聞き、これを是非実施したいと思った理由は、大きく 3 つあります。

まず 1 つは、私たち医療関係者は、もともと非営利ですから、医療そのものが社会貢献だと思っていますが、同時に、社会の中で生きている一人の人間として別の社会貢献の道もあるはずです。そこで、治療で不要になった歯科撤去金属を資金にするのは、とても面白いアイディアだと思いました。

2 つ目の理由は、日本財団が透明性を重視していることです。このようなプロジェクトには、透明性をいかに担保するかが重要です。今でも忘れないのは、笹川会長から「日本歯科医師会のために専用の金庫を用意します。いつでも抜き打ちで検査に来ていただいて構いません。換金する時も立ち会ってもらって透明性を確保していただきたい。」と言っていただいたことです。

そして最後に、金属の換金手数料と消費税以外の一切の間接経費を日本財団が負担してくれていることです。従って会員から集められた寄付は、すべて事業に活用される。これは素晴らしい提案だと思いました。



病気や貧困と闘う子どもたちを支援

笹川 ご寄付いただいた歯科撤去金属は換金し、全額、難病と闘う子どもたちの支援やミャンマーの恵まれない子どもたちの学校建設に活用させていただいております。小児難病は、子どもだけでなく、その家族も一緒に病気と闘っています。また、ミャンマーの子どもたちは、勉強をする機会を与えるだけで将来の可能性が大きく広がります。子どもたちは、どこの国でも大切な宝です。是非、歯科医師の皆様には、歯科撤去金属が、このような事業に使われていることを、患者様に伝えいただき、孤立する彼らに「ひとりじゃないよ」というエールを全国から送っていただきたいと思います。

大久保 国内の支援プロジェクトである小児がんや難病の子どもたちの支援には、非常に興味を持っています。私たち歯科医師は、障害者施設での治療もしていますので、重い病気を持っている子どもの親が、いかに苦労をしているかを身近なところで経験しています。ですから「海のみえる森」、「チャイルド・ケモ・ハウス」など、日本ではこれから発展していくなくてはいけない分野である難病児支援を推進できるのは、歯科医師会にとても大変有り難いことです。

笹川 すでに、「海のみえる森」では、地元の平塚歯科医師会の先生方による口腔ケアのサポートもいただいておりますが、普段なかなか歯医者さんに行けない難病の子を持つご家族からはとても好評で感謝されています。

大久保 ミャンマーの学校建設についてですが、私は常に医療と教育が国をつくる根幹だと思っています。国民がまず健康であること、子どもたちがきちんと教育を受けて立派な大人になること。この二つは、どちらも国家にとって、最も大切な営みです。以前、笹川会長にお聞きした時に、日本財団は、お金だけ渡して校舎をつくって終わりではなく、村人が一緒に学校をつくる、つくった学校が自分たちのものだという意識をしっかりともらうような学校づくりをしていると教えてもらいました。この方法論が、とても胸に響きました。昔は、日本でも学校が地域の核でした。そういうことも含めて学校づくりをお考えになっていることがとても嬉しかった。当会の役員も含め、

すでに 2 回歯科医師が現地に行ってています。最初は、とても不安がっていましたが、帰ってきたら「また行きたい」と大変喜んでいました（笑）。そして 2 回目のボランティアツアーには、86 歳の女性歯科医師をはじめ、9 名の歯科医師が参加して、それぞれの方が貴重な体験をしたと聞いています。ミャンマーには、私も是非、行ってみたいと思っています。



日本に寄付文化を醸成するリーダーに

笹川 日本財団では、日本に寄付文化の醸成をすることに力を入れて参りました。私たち一人ひとりが、自分のできる範囲で社会のために協力するという考え方を、歯科医師の先生から全国に広げてもらえると非常に力強いものになります。現在、国には 1,000 兆円を超える赤字がありますので、これからは、民が民を支えていかないといけません。TOOTH FAIRY は、大久保会長のご指導のもとで日本を代表するチャリティーに発展し、日本の社会に大きなインパクトを与えています。私は、世界中でこの話をしていますが、どこの国でも日本の歯科医師のアイディアと行動力に驚かれます。先日、中央アジアのウズベキスタンとタジキスタンのへき地に行ってきましたが、かつての日本のように、金歯を入れることが一つのステータスになっていて、上の歯が全部金歯なんて人がたくさんいました。これが頂戴できれば大変なお金になるのですがね（笑）。

大久保 騎馬民族は、財産である金を、常に身にまとっていると歴史学者から聞いたことがあります。まさに金歯は、身についていますから、そういう習慣があるのかもしれませんね。

TOOTH FAIRY の参加歯科医院が、4 年間で 5,000 件を超えたということは、自分の予想を上回っています。多くの会員が、動き出してくれたことを嬉しく思っています。一方で、まだまだ TOOTH FAIRY を知らない会員もいるかもしれませんので、今後も周知をしっかりしていきたいと思います。

笹川 日本歯科医師会のように、業界全体が一つの方向に向かって行動するということは、世界的にも非常に珍しいモデル的な例です。プロジェクトの成果とともに、ますます世界的にも注目を集めるチャリティーとなることを確信しています。

タイムテーブル

TIME TABLE

寄付金関連 & ニュース		事業関連	
2012年 5月		11日～13日 - 体験宿泊会	
		18日 - 地鎮祭	
		24日～30日 - 春の芸術祭	
6月	11日 - 日本財団会長 笹川陽平 ミャンマー少数民族福祉向上大使を拝命	30日 - 小児がんQOLについて 考えるシンポジウム	
7月	23日 - 第9回目の換金	1日～7日 - ツリーハウス一般公開	
8月		16日 - チャリティコンサート	
9月		1日～7日 - チャリティ夏祭り・体験宿泊会	
10月	29日 - 第10回目の換金		
11月			
12月	金属回収強化月間	1日 - チャリティノルディックウォーキング	
2013年 1月	ラッフルキャンペーン(慈善福引)	26日 - ツリーハウス一般公開	
2月	5日 - 第11回目の換金 15日 - 参加歯科医院5,000医院達成 19日 - 日本財団会長 笹川陽平 ミャンマー国民和解担当 日本政府代表を拝命	11日 - かえっこバザール in KOBE 24日 - チャリティコンサート	
3月		7日 - ミャンマー歯科ボランティアツアー 29日 - 竣工式	

メディア掲載実績

MEDIA

海のみえる森 関連

2012/07/05	業界紙	日歯広報	「海のみえる森」体験宿泊において実施した歯科相談に関する報告
2012/10/30-31	新聞	読売新聞	子どもホスピス 難病でも安心の宿泊(一華ちゃん一家の宿泊体験)第1回、2回

チャイルド・ケモ・ハウス 関連

2013/03/29	新聞	神戸新聞	チャイルド・ケモ・ハウス竣工式 がんの子守る「家」完成
2013/03/29	Web(新聞)	神戸新聞NEXT	国内初、家族も滞在 小児がん専門施設が神戸に完成
2013/03/31	Web(新聞)	神戸経済新聞	神戸に小児がん専門治療施設一闇病患者「家にいるような環境」を

TOOTH FAIRY 関連

2012/04/10	業界紙	新聞QUINT	約7,000万円を難病児とその家族支援へ
2012/04/15	業界紙	デンタルタイムズ21	TOOTH FAIRY プロジェクト ミャンマー視察訪問
2012/04/15	業界紙	日歯広報	私が見てきた世界の歯科事情 途上国の歯科事情
2012/07/17	業界紙	培養だより	学校建設と歯科事業を訪ねる視察報告記
2012/8月号	業界紙(社内報)	住商コミュニティー	歯科診療所「歯の妖精から贈り物TOOTH FAIRYプロジェクト」に参加
2012/08/05	業界紙	日歯広報	約161kgの歯科撤去金属引渡す TOOTH FAIRYプロジェクト
2012/10/11	新聞	室蘭民報	歯の妖精 TOOTH FAIRYの難病児童生活支援事業
2012/12/27	新聞	室蘭民報	TOOTH FAIRY、歯科撤去金属を換金 小児施設に4,000万円寄付
2013/03/02	テレビ	KTNテレビ長崎	歯の妖精を知っていますか ~TOOTH FAIRY活動の歩み~

プレゼン・ブース展示等

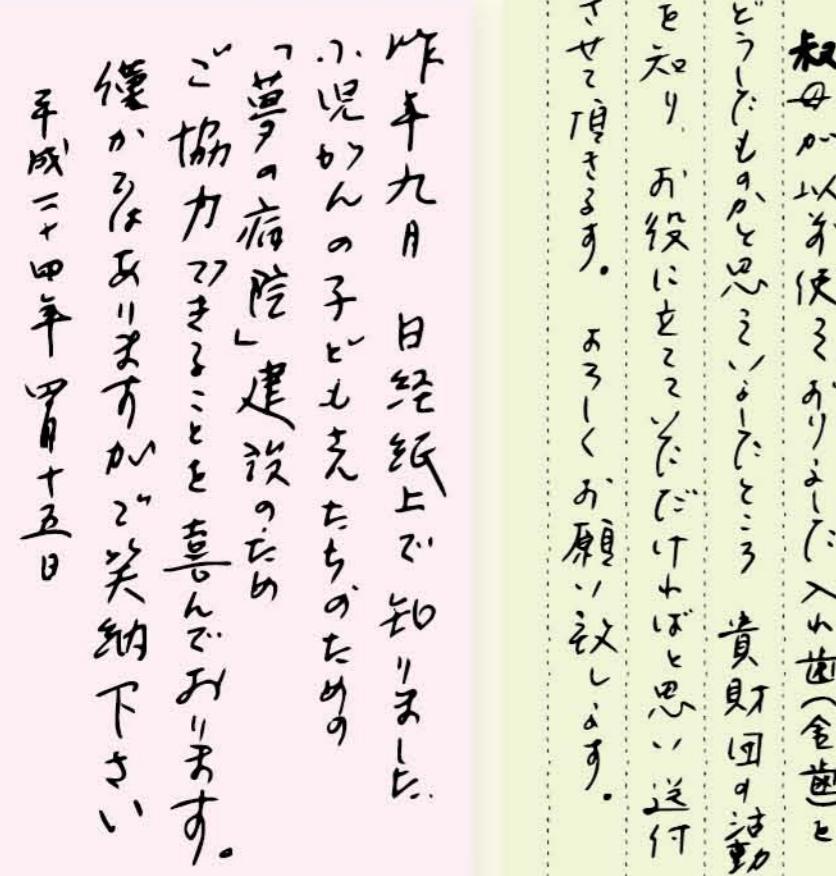
PRESENTATION

2012/05/19	ブース展示	日本歯周病学会学術大会(北海道)
2012/06/22	プレゼン	薩摩郡歯科医師会
2012/07/07	ブース展示	日本歯科医療管理学会総会(沖縄)
2012/07/28	プレゼン	和歌山県歯科医師会総会
2012/08/04	ブース展示	横浜市青葉区歯科医師会
2012/08/26	プレゼン	産業歯科医師会(東京)
2012/09/02	ブース展示	和歌山県歯科医師会県レクリエーション
2012/09/16	ブース展示	歯科衛生士学会(盛岡)
2012/10/08	プレゼン	2012年入れ歯感謝デー 市民公開講座(主催:日本歯科技工士会)
2012/10/13	ブース展示	第65回九州歯科医学大会
2012/11/30	プレゼン	唐津東松浦郡歯科医師会
2012/12/02	プレゼン	栃木県歯科医師会
2012/12/08	ブース展示	2012年度国際歯科学士会(東京)
2013/01/12	プレゼン	緩和口腔ケア研究会(東京)
2013/01/27	プレゼン	産業歯科医師会(東京)



個人の方からのお手紙紹介

LETTER



暑中街頭収集中止ます。以前テレビで本題致いたしました。
歯の治療中です。もう何年も通院します。歯周病による事で
1年も良く治ません。元来歯が弱いから毎回食事後には
歯みがきをいろいろなのが...
さて今日取扱いました。金歯なのでサイクルで3年かと
恩の同封致ます。少しだけですが誰かお役に立てばとても嬉しいです
歯の痛みにて文字書けいはす。
乱文乱筆 お詫び下さい。 がんこ

歯医者さんにてホスターと拝見しお手紙しております
少しでもお役に立てられればうれしいです よろしくお願ひます

矢日 2011年度活動報告の年報送下さって
以前活動されていらしてますへい皆感謝いたします
今日は、イヤリシケな人で送らせていたたきました
お役に立つて幸いであります。お手紙にて
あると、う事と何かの様で知りあくさせていたしました
以前入れ歯をつくりました。おの歯にはなじみませんでした
どうもかと聞いたら、上の歯精ブレゼントといふの
お役に立つて幸いであります。お手紙にて
お手紙にて幸いであります。お手紙にて
お手紙にて幸いであります。お手紙にて

前略



TOOTH FAIRY 協力企業・団体

PARTNER OF TOOTH FAIRY

ご協力いただいた企業、団体をご紹介します
ありがとうございました！

ラッフルとは…
チャリティーイベントには欠かすことのできない「ラッフル」
という手法を取り入れたキャンペーンを実施しました。このキャンペーンでは、2012年
12月～2013年3月までの期間に金属を送っていただいた方の中から抽選で、企業や団体
からご提供いただいた景品をプレゼントさせていただきました。今後も金属で寄付をして
いただくことに「楽しさ」を実感していただけるようなキャンペーンを実施して参ります。

ラッフル景品協賛企業・団体一覧

オニキステーブルランプ
提供：相田化学工業株式会社



飲料
提供：株式会社 伊藤園



空気殺菌用超音波噴霧器
提供：株式会社 エビオス

株式会社
エビオス



JTB 旅行券
提供：株式会社 JTBコーポレートセールス



デジタル一眼レフカメラ
提供：株式会社ニコン



飲料
提供：ダイドードリンコ株式会社

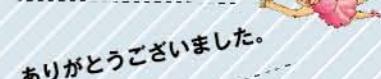


あかみず商品詰め合わせ
提供：川魚料理「あかみず」



紀州特産南高梅
提供：和歌山県伊都歯科医師会

和歌山県伊都歯科医師会



その他協力企業・団体

エクスチェンジ有志一同

ゲッティ・イメージズ・セールス・ジャパン 合同会社

POIC®(専門的口腔感染症予防)研究会

有限会社 錦部製作所

MESSAGE

POIC®(専門的口腔感染症予防)研究会

TOOTH FAIRY の国内外の貧困や難病と闘う子どもたちに夢を届けるというミッションに共感しました。

私達も同じ歯科業界にいきる身として TOOTH FAIRY

プロジェクトの活動の一助になればと思います。

夢にむかって、がんばれ子どもたち！



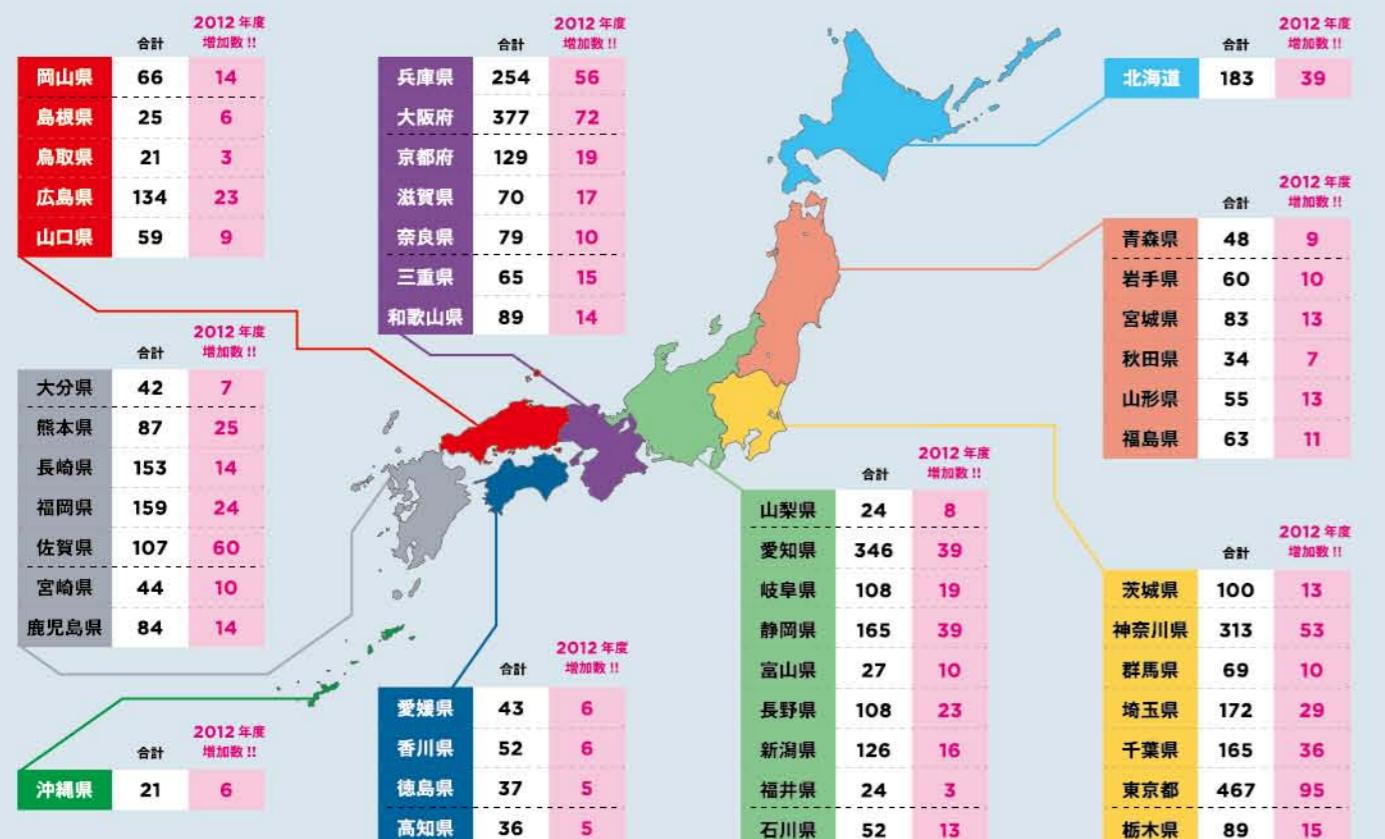
(敬称略)

963の TOOTH FAIRY が誕生しました！

都道府県別 TOOTH FAIRY 参加歯科医院

全国の歯科医師の皆様と患者様の協力により貧困や難病に苦しむ子どもたち

に夢を届ける TOOTH FAIRY。今年度は新たに 963 の TOOTH FAIRY が誕生しました！日本中で TOOTH FAIRY の輪がますます広がっています！



ありがとう！TOOTH FAIRY 応援団！

TOOTH FAIRY では歯科医師会全体や同窓会での参加も頂いております。

皆様の声援が子どもたちにとって何よりの大きな力です！

TOOTH FAIRY 参加歯科医師会

- 東海市歯科医師会（愛知県） 小城・多久歯科医師会（佐賀県）
- 河内長野市歯科医師会（大阪府） 伊都歯科医師会（和歌山県）
- 山県歯科医師会（岐阜県） 唐津東松浦歯科医師会（佐賀県）
- 中京歯科医師会（京都府） 和歌山市歯科医師会（和歌山県）

TOOTH FAIRY 参加大学同窓会

- 福岡歯科大学同窓会長崎県支部
- 「歯ってん会」（長崎県）

2012年度增加数 !!
963



収支報告（自 2012年 4月 1日至 2013年 3月 31日）

I. 収入の部		II. 支出の部	
歯科撤去金属売却収入	194,207,584 ※1	事業費支出合計	250,000,000 ※3
現金寄付金収入	1,354,186 ※2	分析精製手数料支出	4,975,040 ※4
当期収入合計	195,561,770	当期支出合計	254,975,040
前期繰越収支差額	278,367,226	当期収支差額	-59,413,270
収入の部合計	473,928,996	次期繰越額	218,953,956

※1 売却金額から預かり消費税相当額を引いた額

※2 TOOTH FAIRY 参加歯科医院や個人からの現金寄付

※3 チャイルド・ケモ・ハウス設立のための費用の一部として

※4 金属の分析精製手数料（税込）金額



換金結果 金属リサイクル結果

第9回換金 / 7月23日	第10回換金 / 11月29日	第11回換金 / 2013年2月5日
回収期間 (2012年1月19日～7月19日)	回収期間 (2012年7月20日～11月16日)	回収期間 (2012年11月17日～2013年1月25日)
寄付金額	寄付金額	寄付金額
¥70,728,316 ※1	¥40,284,635 ※1	¥78,219,593 ※1
寄付件数合計	寄付件数合計	寄付件数合計
585 件 (参加歯科医院: 534 件 個人: 51 件)	329 件 (参加歯科医院: 299 件 個人: 30 件)	617 件 (参加歯科医院: 599 件 個人: 18 件)
総重量	総重量	総重量
214kg ※2 (参加歯科医院: 206kg 個人: 8kg)	127kg ※2 (参加歯科医院: 126kg 個人: 1kg)	216kg ※2 (参加歯科医院: 205kg 個人: 11kg)

※1 寄付金額 = 歯科撤去金属売却金額 - 売却手数料

※2 金属の総重量には、容器の重量が含まれています。また内容物の中にも換金できる有価金属以外の物質も含まれています。

スタッフ紹介



長谷川 隆治

(日本財団ファンドレイジングチームリーダー)



沢渡 一登

(日本財団ファンドレイジングチーム)



山崎 美加

(日本財団ファンドレイジングチーム)



小村 悠子

(日本財団ファンドレイジングチーム)

難病とたかう一華ちゃんファミリーのお宅に遊びに行きました。頻繁に無呼吸発作が起きてしまう長女一華ちゃんをはじめ4人の子どもを、はつらつと育児するお母さんの姿に脱帽。「大変だけど大変じゃない、可愛さのほうが断然勝っている。」というお父さんの言葉に、親子の本質を見た気がしました。それでも、TOOTH FAIRYの支援があることで、家族で自然を楽しんだり、きょうだいが親に甘えられる時間を作れたり、夫婦で散策したりできる、みんながそっと支えてくれていると思えるだけで元気が湧いてくると言ってくれました。これからも「ひとりじゃないよ」という気持ちを届けていきましょう！皆様のご協力に心から感謝いたします。

TOOTH FAIRY の担当になってもうすぐ1年になります。今までの人生で教えるほどしか行ったことがなかった歯科医院に、今年は何度も訪問する機会がありました。そして、たくさんの先生にお会いすることができました。先生との一期一会を大切に、みなさまニケーションを深め、最終的にはTOOTH FAIRY の物語のように、難病と闘う子どもたちの笑顔やミランマーの子どもたちの夢に換えていきたいと思います。

佐賀県の唐津市出身で、実家は川魚料理屋を営んでいます。自然が遊び道具のてんぱん娘でした。この4年間で南北は沖縄、北は北海道まで多くの歯科医師の先生方とお会いし、今では会社でも歯の相談を受ける程になりました。支援して下さる方1人1人のコミュニケーションを深め、最終的にはTOOTH FAIRY プロジェクトに関わるすべての人たちを繋げていけたらと思っています。美味しいご飯が大好きでお酒が飲めない薩摩おじょです。他のメンバーよりも経験の浅い身ではありますが、だからこそピュアな感覚で、支援を必要とする子どもたちのためにできることはないかと自分なりに考え、摸索する毎日です。夢とストーリーが一杯のTOOTH FAIRY プロジェクト、子どもたちと歯医者さん双方にとって少しでも良いものとするためにも、皆様からの忌憚のないご意見・ご感想などぜひお寄せ下さい！

TOOTH FAIRYのこれまでと、 これからのプレゼント



これまでの TOOTH FAIRY



FAIRY SCHOOL PROJECT

校舎を建設するだけでなく、持続可能な学校運営のため、水力発電などの小規模ビジネスを実施しています。
2011年度には日本歯科医師会の役員（2名）、2012年度には TOOTH FAIRY 参加歯科医院に公募し全国から歯科医師（9名）が現地を訪問し、歯科検診等を実施しました。



① 小児がんと闘う子どもたちの夢がいっぱい詰まった家のような施設



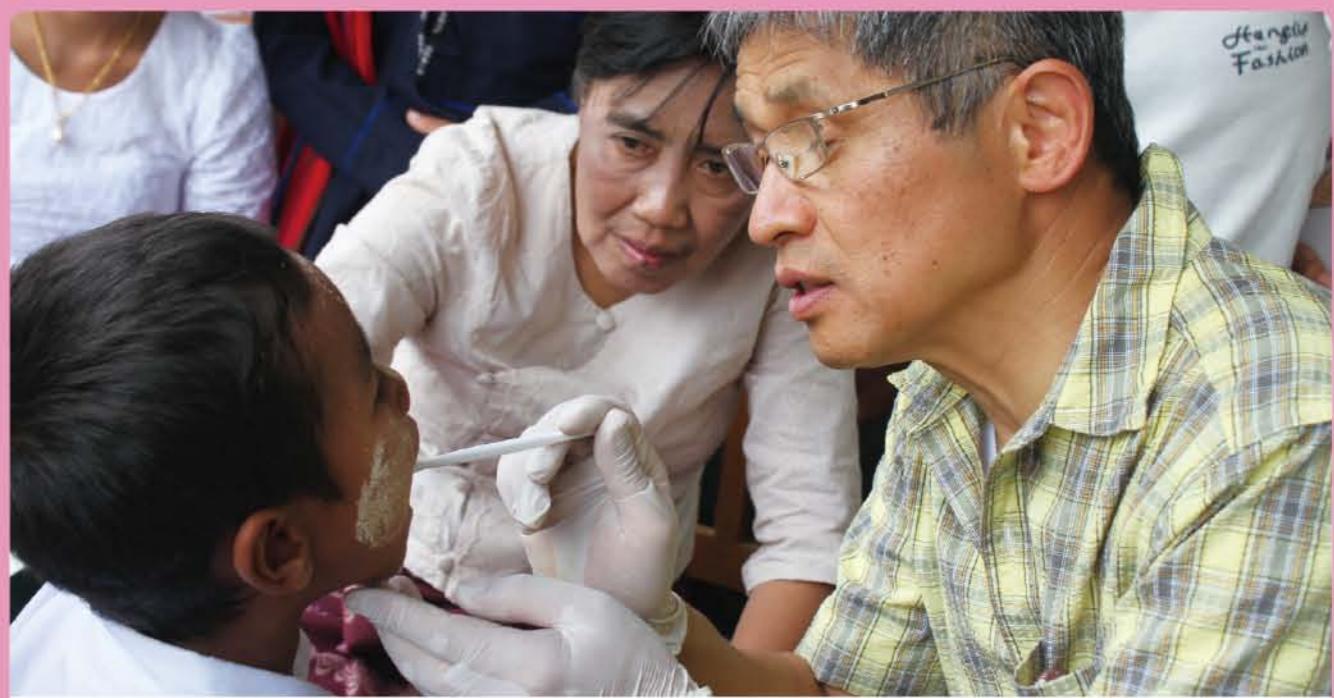
② 海のみえる森にて平塚歯科医師会 増井副会長による歯科検診

FAIRY CHALLENGE KIDS PROJECT

① 神戸に小児がんの子どもと家族のための家のような施設、「チャイルド・ケモ・ハウス」が完成しました。
② 神奈川県大磯に小児ホスピス「海のみえる森」の開設を目指しています。

活動から4年を迎え、たくさんの子どもたちに夢を与えてきた
TOOTH FAIRY。
これまでの活動と
これからの活動をご紹介します。

これからの TOOTH FAIRY



FAIRY SCHOOL PROJECT

- ↗ 今後4年間で40校を建設し、合計50校の学校建設を目指します。
- ↗ より多くの子どもたちに、高等教育への進学の可能性を開きます。
- ↗ 歯科医師によるボランティアツアーを実施。口や歯の大切さを伝えます。
- NEW** 無歯科医村の口腔ケアモデルを構築します。
- NEW** シャン州以外の地域にも学校を建設し、ミャンマー全土の安定した発展を支えます。
- NEW** 日本の子どもたちとの交流を図ります。



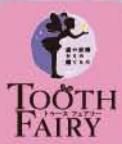
FAIRY CHALLENGE KIDS PROJECT

- ↗ 「チャイルド・ケモ・ハウス」、「海のみえる森」への支援活動を継続し、モデル事業へ育成します。
- NEW** 病気と闘う子どもたちのために、自然体験キャンプや遊園地への家族旅行を提供します。
- NEW** 新たに小児ホスピスの施設整備を目指します。
- NEW** 病気の子どもたちを支援する団体の実務者による「横の連携」を強化します。

まだまだ皆様のお力を必要としております。

今後も TOOTH FAIRY へのご支援よろしくお願いします。





TOOTH
FAIRY

日本財団 歯の妖精 TOOTH FAIRY | 〒107-8404 東京都港区赤坂1-2-2

TEL : 0120-24-2471 (平日：9時～17時) | E-mail: cc@ps.nippon-foundation.or.jp

協賛：公益社団法人 日本歯科医師会



「いいね！」を押してください。
<https://www.facebook.com/ToothFairy.fan>



日本
財團
THE NIPPON
FOUNDATION



経営支援グループ